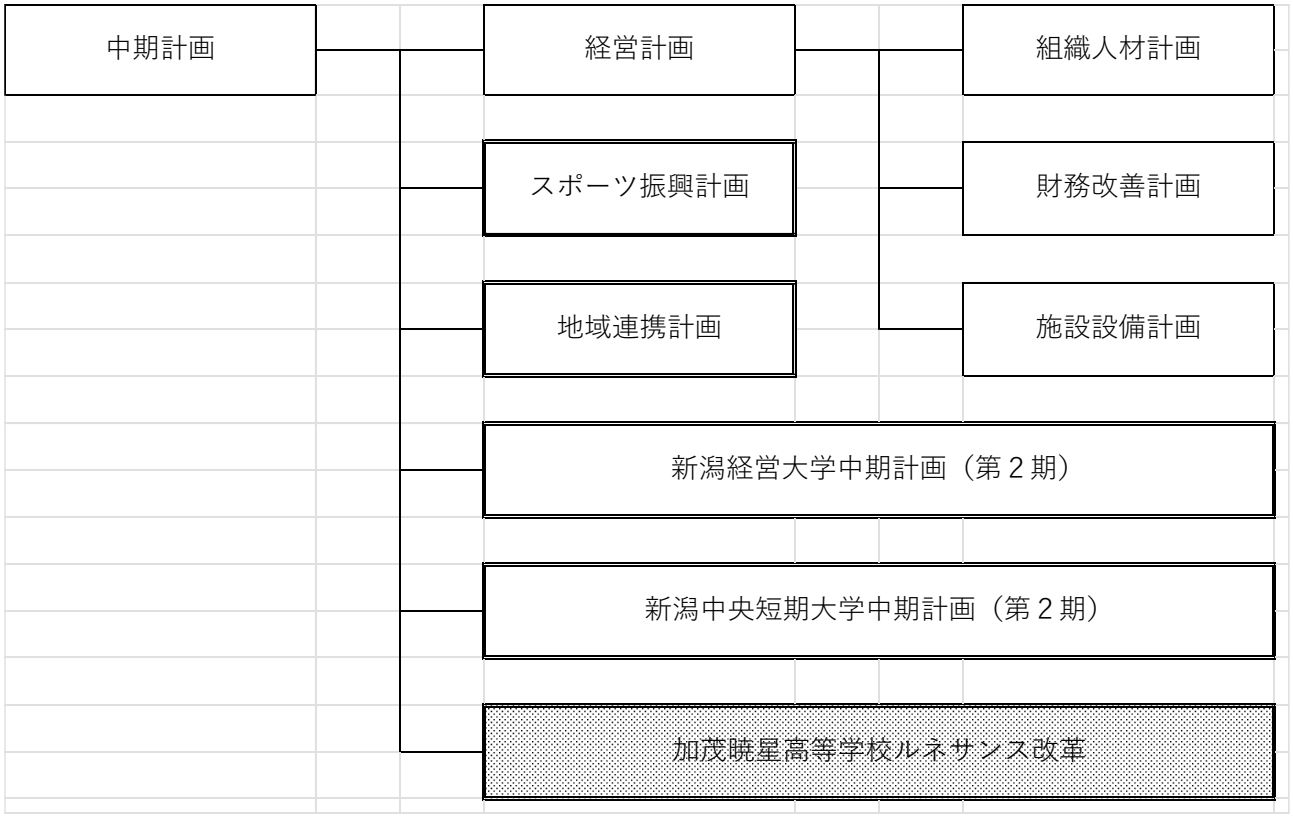
加茂暁星高等学校ルネサンス改革

令和７年３月
加茂暁星学園

１　学園全体の計画体系



２　建学の精神

業学一如　「学は業のためにあり、業また学でなければならないのである」

（創設者　西村大串（にしむらだいかん））

【業学一如：ぎょうがくいちにょ】
本学園の創設者、西村大串は大正９年９月(1920 年)、加茂朝学校を設立。その説明会において「学は業のためにあり、業また学でなければならないのである。この朝学校なるものは、普通の学校とはその趣を異にして一心に只だ身を学問にゆだねる事のできない人たちが只だわずかなる朝の時間に読書修養を志すのである。未だ惰眠を貪っている鶏鳴四時をつぐる時、厳冬丈なす雪ふみわけて登校することは勿論困難なことには相違ない。朝学校は自ら真を求る人々の人格の修養場である。」と語り経済的、時間的に余裕のない若者に学びの機会を与えました。

３　教育目標

徳育・知育・体育において、仏教精神にもとづく人間形成、高校生としての基礎学力の修得、健やかな体力づくりを目指す。特に時代の急速な変化に伴う上級学校進学率の向上、情報化、国際化、高齢化時代の対応を踏まえて、必要な教育施設の充足及び幅広い教育課程を採用して、大学を併設する私学としての特色を発揮してゆく。

【教育・研究における重点項目】

○ 建学の精神のもと、社会に貢献し、活躍できる人材を育成する
○ 社会人として評価される非認知能力身につけた人材を育成する

【地域貢献における重点項目】

○ 加茂市と連携した地域活性化活動に取り組む
○ 地域包括ケアを踏まえた地域連携による看護人材を育成する
○ 部活動を通じた地域連携活動に取り組む
○ 地域人材を活用した学習活動を進める

４　加茂暁星高等学校ルネサンス改革（各論）

１．計画の目標水準

【教育の質保証】

加茂暁星高等学校の質保証の前提として以下の指標を計画期間内に達成する。

A　募集定員充足率	**１００%達成**
B　収容定員充足率	**１００%達成**

【PDCA サイクルの確立】

新たな収入確保を図るとともに、収支構造の見直しを推進する。

E　全ての重点項目に着手し、収支バランスを達成する。（赤字ゼロ）

２．計画の体系

⑴ 現行

○ 学年制による全日制課程 普通科コース制 ４学級（160 人）募集。
○ 学年制による全日制課程 看護科２学級（60 人）募集。

⑵ 令和７年４月より

○ 単位制による全日制課程 普通科に改組し、定員は４学級（160 人）募集。
○ 学年制による全日制課程 看護科及び看護専攻科の定員は１学級（40 人）。

⑶ 令和８年４月より

○ 通信制課程 普通科を新設し、完成年度の定員は 30 人とする（県へ申請中）。
○ 通信制課程は、新規中学校卒業者の募集を行わず、本校全日制課程に入学した生徒に限り、転籍することができる。